

真庭あぐりネットワーク販売情報管理システム調達事業
特記仕様書

2026年6月

真庭あぐりネットワーク推進協議会

目次

1	業務名.....	3
2	業務概要.....	3
3	履行場所.....	4
4	システム仕様.....	4
5	POS レジ・販売管理・ラベル発行等、システムに関する仕様.....	9
6	導入スケジュールについて.....	15
7	運用サポートに関する仕様.....	16
8	保守管理について.....	17
9	その他.....	18
10	用語定義一覧.....	18

1 業務名

真庭あぐりネットワーク販売情報管理システム調達事業

2 業務概要

2.1 業務の目的

本業務は、現行システムのサポート終了に伴う単純な機器更新に留まらず、急速に変化する消費環境や技術動向に柔軟に対応した運営基盤の構築を目的とする。

具体的には、キャッシュレス決済による消費者利便性の向上、データ・ソフトウェア連携、ペーパーレス化等による業務の効率化、および各施設、市内流通などから得られるデータを活用し、今後の更なる農産物販売等の強化を図ることを目的とする。

また、AI等のデジタル施術を活用した売上予測や値決め支援など、現時点での現場ニーズの充足のみならず、最新のデジタル技術や他業界の成功事例も検討し、現場がまだ認識していない潜在的な課題の解決など、持続可能な次期システムを導入するものである。

2.2 納入期限

・契約締結日～令和9年3月26日(金)

2.3 本業務内容

- ・POSレジ・販売管理・ラベル発行等システム導入及び機器調達
- ・POSレジ・販売管理・ラベル発行等の設定及び設置・調整
- ・POSレジ・販売管理・ラベル発行等に関わるネットワーク環境構築
- ・POSレジ・販売管理・ラベル発行等の導入における管理者向け・施設向け操作研修・マニュアルの提供
- ・出荷ラベルの導入における生産者向け操作説明・マニュアルの提供
- ・導入作業・サポート、運用サポート、機器保守、運用保守等履行期間中のサービス
- ・その他、本業務の履行に必要なもの

2.4 成果物納品

本業務における成果納品は以下のリストのとおりとする。

- ・ 内容一式をDVD等の電子媒体により提出すること。
- ・ 製品保証などの添付物、各施設に必要な成果品は、施設ごとに綴じて提出すること。

【成果物等納品リスト】

- ・ 業務着手届
- ・ ソフトウェア及び関連システム一式(納入物品一覧表、製品保証証等添付物含む)
- ・ 各種計画書(プロジェクト計画書、試験計画書、移行計画書等)
- ・ 各種設計書(基本設計書、システム設定・手順書、移行要件定義書等)

- ・ 各種報告書(パラメータ設定シート、アクセシビリティ等の試験結果報告書、移行結果報告書、打ち合わせ記録簿 等)
- ・ 各種マニュアル(操作マニュアル、運用マニュアル等)
※オンラインマニュアルの場合は、参照先 URL を記載のこと
- ・ 完成写真
- ・ その他協議会が指定する資料
- ・ 業務完了届

3 履行場所

真庭あぐりネットワーク協議会 POS システム設置施設

	拠点名称	生産者数	住所
1	道の駅「風の家」	250	真庭市蒜山上徳山 1380-6
2	ふるさとふれあい特産館	63	真庭市蒜山下長田2050-1
3	下湯原温泉ひまわり館	121	真庭市下湯原 24-1
4	勝山農産直売所「健康の里」	345	真庭市江川 834-1
5	道の駅「醍醐の里」	511	真庭市鹿田 391-1
6	JA 直売所「きらめきの里」	—	真庭市中島 422-1
7	JA 直売所「コスモスの里」	—	真庭市上水田5106-1
8	真庭市場 高槻店	643	大阪府高槻市高槻町 14-30
9	真庭市場 守山店		滋賀県守山市播磨田町 185-1
10	株式会社オール真庭(真庭市場・本部機能)	—	真庭市西河内 696-43
11	協議会事務局(本部機能)	—	真庭市久世 2927 番地 2

※生産者数は過去3年間の出荷者最大値

4 システム仕様

4.1 システム概要

本システムは、直売所特有の委託販売業務を支えつつ、施設スタッフと生産者の事務負担軽減、および消費者の利便性向上を実現するものであり、主に以下の3つのコア機能で構成される。また、各施設は独立した運営主体でありながら、生産者は複数施設に同一商品を出荷することができ、出荷先以外の施設においても販売が行われる。本システムはこの運営形態に対応するため、施設間をまたいだ商品の販売・精算・手数料管理を一元的に処理できる仕組みを備える。

(1)POS レジ機能

対面レジ方式を採用し、スタッフ操作の負担軽減につながる直感的なタッチパネル操作を基本とする。自動釣銭機や各種キャッシュレス決済との連動に加え、商業施設独自の金券や複雑な割引処理を簡素化して実行できる柔軟性を備える。

(2)販売管理・精算機能

施設・品目・生産者ごとに異なる複雑な販売手数料体系に対応する。直売所間で商品を移動させて販売する「市内流通」において、集荷元施設と販売施設が異なる場合の手数料(協議会手数料・集荷元手数料)を自動計算し、適切に振り分ける機能を有する。また、銀行振込用の全銀協フォーマットデータや、会計ソフト連携用の CSV 出力を備え、手作業での入力負担を解消する。

(3)ラベル発行

生産者自身が簡単な操作でラベルを発行できる仕組みとし、生産者単位の印刷画面(マイページ)や加工品の食品表示に対応する。発行したラベル費用は自動で経費として計上・差し引かれる仕組みを備える。

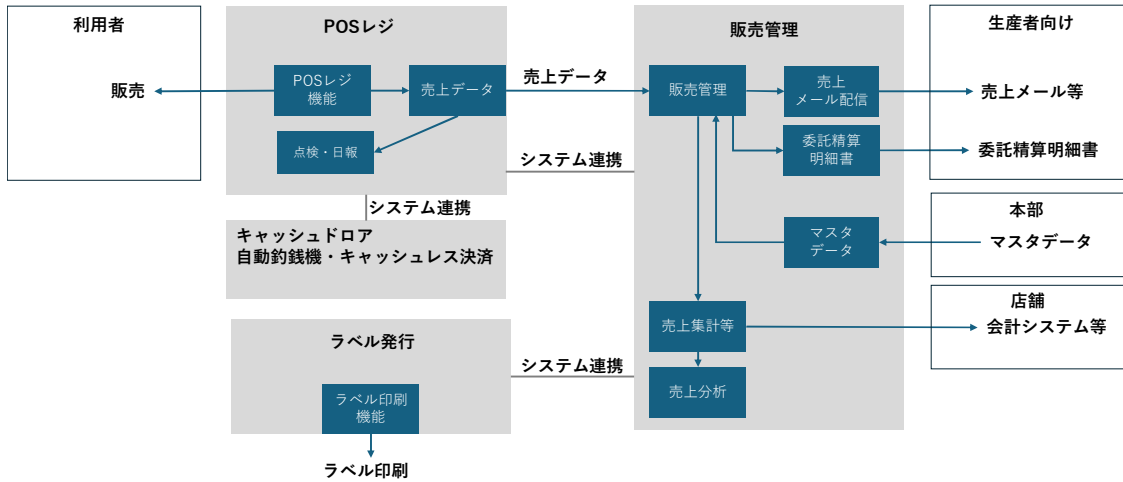


図 1 図:システム構成概要図

市内・市外販売(真庭市場)に関する手数料計算のしくみ

市内流通および市外販売(真庭市場)の際に生ずる集荷および配送は、商品単位で手数料を計算する。手数料ルールは下図のとおり。

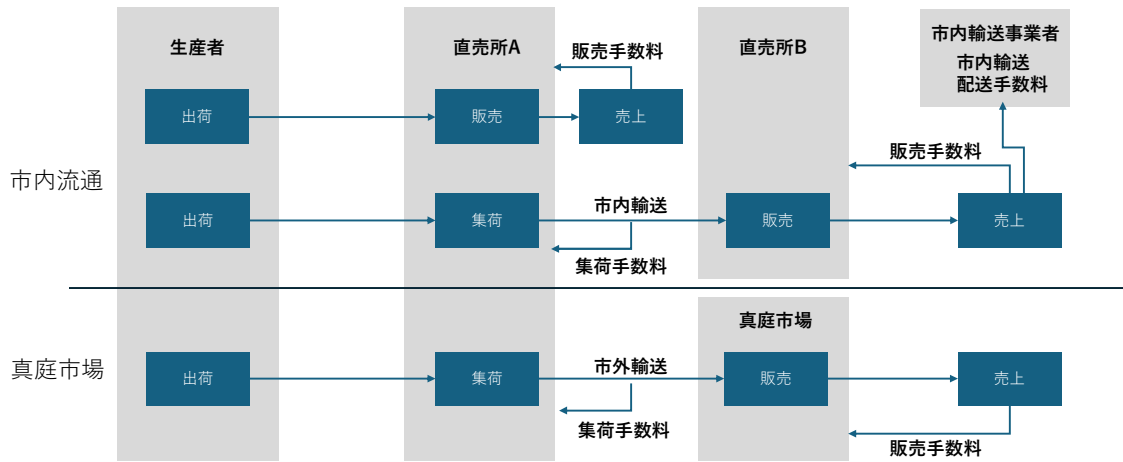


図 2 手数料関連図

本システムの最大の特徴は、「バーコードに販売先施設の情報を持たせない設計」にある。一般的なPOSシステムでは、バーコードに販売施設の情報を埋め込むことで売上の帰属管理を行うが、本システムでは商品バーコードに「集荷元コード」を格納する。

これにより、生産者が一度発行したバーコードラベルを、どの施設の POS でもそのまま読み取り・販売することが可能となる。施設間にまたがる販売が発生した場合は、POS 読取時にバーコード内の集荷元コードと販売施設コードを自動照合し、不一致の場合に配送手数料(協議会手数料・集荷元手数料)を自動計算する仕組みを持つ。

この設計は、通常の POS システムでは実現しない独自の特殊要件であり、次期システムにおいても継承すべき中核機能であり、以下の 3 つの層で構成される。

(1)本部機能(マスター管理)

生産者マスター・商品マスターを一元管理し、全施設へ配信する役割を担う。各施設共通で使用するコード体系・手数料マスターの維持管理を行い、施設間の整合性を保つ。

(2)各施設(POS システム・販売管理・ラベル発行)

協議会から配信されたマスターを取り込み、施設個別の設定(業者区分・手数料率・振込先等)を追加した上で運用する。日々の POS 販売・ラベル発行・委託精算を施設単位で行い、売上データおよびラベル発行データを協議会の累積 DB へ出力する。

(3)外部連携(データ連携)

JA など精算委託向けデータおよび会計システムとのデータ連携を行い、施設外部との精算・報告業務を支援する。

マスター管理の基本方針:生産者コード・農産物コードは協議会で一元管理し、全施設で統一したコード体系を使用する。施設固有の商品・仕入業者については、各施設が独自に登録・管理する。

手数料管理の基本方針:委託手数料は生産者の業者区分・商品区分に応じて多段階で設定できる。施設間配送が発生した場合は、協議会手数料および集荷元手数料を別途算出し、生産者への支払精算時に控除する。

データ管理の基本方針:マスターデータの物理削除は行わず、使用禁止フラグによる管理を原則とする。ラベル発行データ・売上データは施設ごとに保持しつつ、協議会の累積 DB へ集約することで、協議会全体の集計・分析を可能とする。

4.2 システム構成一覧

現状、各施設の主な設備については、下表のとおりである。

自動釣銭機、キャッシュレス端末台数は現時点の台数であり、契約候補者と各施設との調整の上で確定する。

表 1 現状の施設別機器数一覧

		POSレ ジ端末 一式	自動 釣銭 機	キャッ シュレ ス端末	ラベル 発行機
1	道の駅「風の家」	3台	3台	0台	2台
2	ふるさとふれあい特産館	1台	0台	1台	1台
3	下湯原温泉ひまわり館	1台	0台	0台	1台
4	勝山農産直売所「健康の里」	1台	0台	0台	1台

5	道の駅「醍醐の里」	2台	0台	2台	2台
6	JA 直売所「きらめきの里」	0台	0台	0台	1台
7	JA 直売所「コスモスの里」	0台	0台	0台	1台
8	真庭市場 高槻店	2台	2台	0台	1台
9	真庭市場 守山店	2台	2台	2台	1台
10	協議会事務局	0台	0台	0台	0台
	合計	12台	12台	12台	11台

販売管理等のソフトウェア・クラウドサービス導入に利用できる既存機器は、事務室に設置しているデスクトップパソコンを利用できるものとし、下表のとおり台数である。

ただし、ふるさとふれあい特産館は、パソコンの更新を行うこと。スペックについては、販売管理等ソフトウェア・クラウドサービスが動作するものを選定すること。

表 2 施設別既存物品一覧

		事務室 PC
1	道の駅「風の家」	デスクトップパソコン:1台
2	ふるさとふれあい特産館	デスクトップパソコン:1台
3	下湯原温泉ひまわり館	デスクトップパソコン:1台
4	勝山農産直売所「健康の里」	デスクトップパソコン:1台
5	道の駅「醍醐の里」	デスクトップパソコン:1台
6	JA 直売所「きらめきの里」	デスクトップパソコン:1台
7	JA 直売所「コスモスの里」	デスクトップパソコン:1台
8	真庭市場 高槻店	デスクトップパソコン:1台
9	真庭市場 守山店	デスクトップパソコン:1台
10	協議会事務局	デスクトップパソコン:1台
	合計	12台

4.3 責任分界点とネットワーク構成

本業務における対象設備(責任分界点)は、下図のとおりとする。

- ・各施設には、真庭市の責任分界点となる L2 スイッチが設けられており、L2 スイッチより配下の構成が対象設備となる。
- ・各施設には、独自運用の情報機器設備があり、本業務の対象外である。
- ・プリンターの共有などによりネットワークが混在している場合は、HUB 配下の構成は施設個別設備として切り分けること。

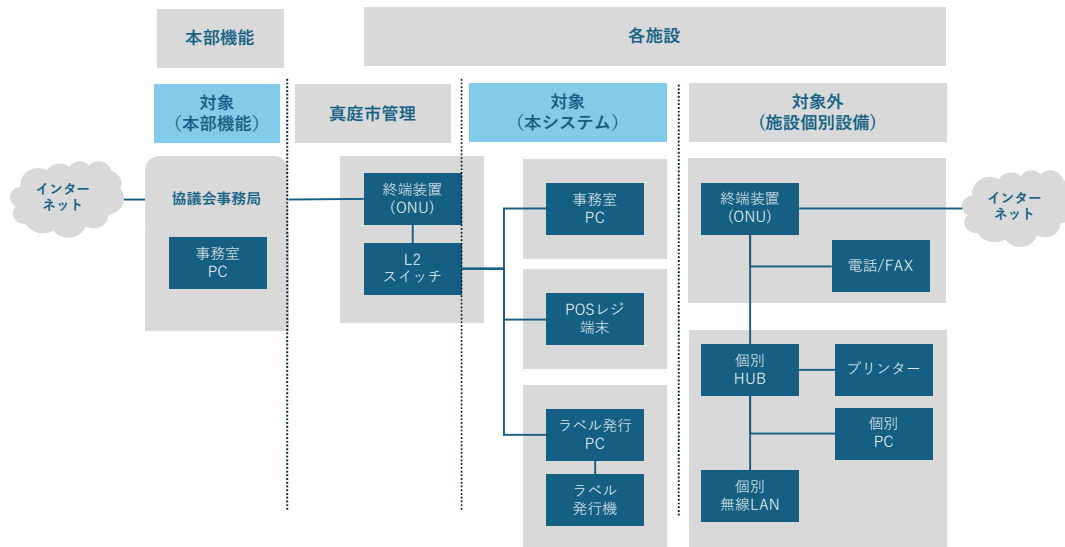


図 3 責任分界点

各施設のネットワーク構成は、下図のとおりである。

- ・ 道の駅「風の家」は無線 LAN によるネットワーク接続を行っている。それ以外の施設は、有線 LAN による接続構成である。
- ・ 現状調査の上、ネットワーク機器の更改が必要な個所は、契約候補者と協議会及び各施設との調整の上確定すること。
- ・ 既存の有線 LAN(売場・事務室・ラベル発行室)は利用できるものとするが、新環境として必要なネットワーク機器は準備すること。
- ・ 保守の観点から接続点が少なくなるよう状況に応じて収容整理を実施し、保全し易い環境を整えること。なお、老朽化等により更新が必要な設備(HUB、LAN ケーブル等)は別途協議とする。
- ・ 機器調達に際しては、保守サポートのある法人向け機器を選定すること。

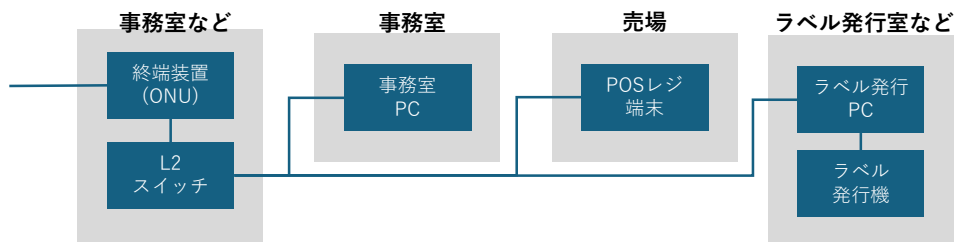


図 4 ネットワーク構成図(「風の家」以外)

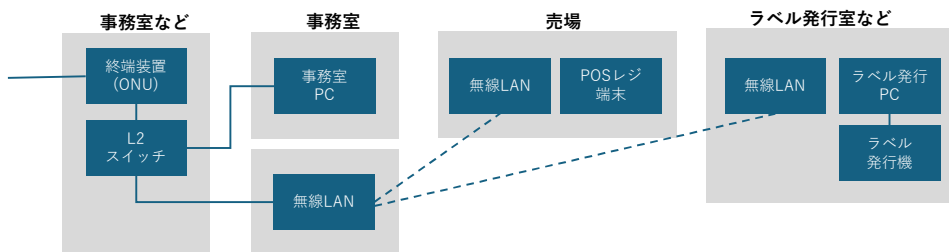


図 5 ネットワーク構成図(道の駅「風の家」)

5 POSレジ・販売管理・ラベル発行等、システムに関する仕様

5.1 前提条件

システムは、次に掲げる項目の機能・業務で構成する。システムは、ハードウェア型・クラウド型どちらでも可とする。ただし、記載の項目については必要機能等の一覧であり、必ずしも同一の名称やメニューの体系で構成するものではなく、総合的に全てを満たしていればよいものとする。導入するシステムは、原則としてパッケージ製品で対応すること。ただし、本仕様書の必須要件をパッケージ標準機能で満たせない場合に限り、カスタマイズにより対応することを認める。その際はカスタマイズ内容・費用・スケジュールを明示すること。別紙「機能要件確認書」についてはパッケージにおける有無を示し、無いものについては代替機能やカスタマイズ等できることとする。

また、「推奨要件」については、未対応の場合であっても代替手段や将来的な対応方針の提示があれば評価対象とする。

なお、別紙「機能要件確認書」によりこれらの状況を記載し提出するものとする。

5.2 各施設の与件

	施設名	与件事項
1	道の駅「風の家」	POS レジ端末は、毎日、半屋外へ運び出し使用(蒜山地域における温度・湿度・埃の影響あり)
2	ふるさとふれあい特産館	冬季休業期間あり(12月～3月) キャッシュレス決済端末1台 精算処理を外部委託(JA)
3	勝山農産直売所「健康の里」	精算処理を外部委託(JA)
4	道の駅「醍醐の里」	割引優待による処理 キャッシュレス決済端末 2 台
5	JA 直売所「きらめきの里」	ラベル発行のみ設置
6	JA 直売所「コスモスの里」	ラベル発行のみ設置
7	真庭市場 高槻店	スキャナを固定したレジ作業への対応検討
8	真庭市場 守山店	施設外での販売対応検討 金券・割引券による処理 キャッシュレス決済端末1台

5.3 共通仕様

下記は、POS システムの現状の仕様である。本仕様に関わらず現状の運用に支障がないことを担保できるのであれば、この限りではない。

(1)バーコード仕様

仕様	
1	CODE128(CODE-C)の 18 桁(チェックデジット含む)を使用
2	バーコードの構成は以下の通りとする 生産者コード(5 桁) 農産物コード(4 桁) 予約区分(1 桁) 集荷元コード(2 桁) 単価(5 桁) チェックデジット(1 桁) ※予約区分(1 桁)は、今後利用しないため廃止可能
3	POS 読取時のバーコード桁数判定を以下の通りとすること ・13 桁以下:ゼロ付加して 13 桁へ変換 ・18 桁:コード分解処理 ・上記以外:エラー

(2)施設間流通仕様

仕様	
1	バーコードは全施設共通のマスターコードを使用し、出品した施設に関わらず対象施設内でそのまま販売処理できること
2	POS 読取時に、バーコード内の集荷元コードと自施設コードを自動照合すること
3	集荷元コードと自施設コードが不一致の場合、配送扱いとして手数料を自動計算・セットすること
4	集荷元コードと自施設コードが一致する場合、上記手数料はゼロとすること

(3)手数料計算仕様

仕様	
1	手数料率の取得優先順位を以下の通りとすること 商品マスターの手数料率(商品個別設定) 仕入先別商品別手数料率マスター(業者区分・商品区分) 仕入先別手数料率マスター(業者区分のみ)
2	手数料率は小数第 1 位まで設定可能とすること
3	0%登録の場合は 0%として処理すること(未設定とは区別すること)
4	委託手数料・協議会手数料・集荷元手数料をそれぞれ独立して計算・管理できること
5	手数料計算の端数は切捨てとすること

(4)マスター管理仕様

仕様	
1	仕入先(生産者)コード・農産物コードは協議会で一元登録し、各施設へ配信する仕組みとすること

2	各施設では、配信されたマスターを取り込んだ上で、施設個別の項目(業者区分・振込銀行・手数料率等)を追加設定できること
3	マスターの削除は物理削除を行わず、使用禁止フラグによる管理とすること
4	商品コードの範囲は以下の通りとすること 0001～8999 委託農産物(全施設統一コード)9000～9999 委託農産物(施設独自コード)90001～90999 経費(包装資材)91001～91999 ラベル費用 92001～92999 廃棄費用 93001～93999 委託手数料 94001～94999 協議会手数料 95001～95999 集荷元手数料(施設別) 100001～JANコード・独自付番商品

(5)売上管理仕様

仕様	
1	売上データには集荷元コードを保持し、施設別・区分別に集計できること
2	同一仕入先・商品・単価であっても、予約区分または集荷元コードが異なる場合はレシート明細を分けること
3	委託商品の原単価を以下の計算式で自動算出できること 原単価 = 売上単価 - (売上単価 × (委託手数料率 + 配送手数料率)) ※ 四捨五入

5.4 POSレジ仕様

	項目	内容
1	対応バーコード形式	CODE128(CODE-C)、JAN8、JAN13、NW-7
2	決済種別	現金決済およびキャッシュレス決済に対応できること
3	キャッシュレス決済	クレジットカード、電子マネー、QRコード決済(PayPay等のストアスキャン方式に対応)を1台で処理できること
4	キャッシュドロア連動	キャッシュドロアと連動可能なこと 管理者以外は現金収納部の現金に触れないようユニットの開閉を制御できること
5	自動釣銭機連動	紙幣対応の自動釣銭機と連動可能なこと
6	金券・キャッシュバック・割引対応・取引操作、税対応等	施設独自の金券による支払いに対応、複雑な割引処理を簡素化して実行できること 返品、取消、取引訂正、レシート再発行ができること 保留呼出・再発行・誤取引データ削除ができること 標準税率、軽減税率、非課税等に対応できること
7	価格変更対応	見切り品対応として、販売中に商品の価格をパーセント指定や金額指定で即座に値引き・割引できること
8	複合決済	現金・キャッシュレス・金券の併用決済に対応できること

9	売上データ保持項目	集荷元コード・協議会手数料率・集荷元手数料率・自施設コードを売上データに保持できること
10	スキャナ	施設の運用に合わせ、ハndsスキャナ、または商品を直接かざして連続で読み取れる「据え置き型スキャナ」を選択・接続できること
11	レシートプリンター	現金・キャッシュレス決済に関わらずレシートや領収書を発行でき、オートカット機能を有すること
12	未登録商品の手打ち	ラベルが剥がれた商品やマスター未登録の商品に対し、部門登録などによる手動での売上登録が容易に行えること
13	インボイス対応	インボイス制度(適格請求書等保存方式)の要件を満たしたレシートおよび領収書の発行が可能であること
14	レシートレイアウト変更	レシートのヘッダ・フッタに、任意の施設ロゴ、メッセージ、QRコードなどを容易に設定・印字できること
15	レジ点検	営業中の任意のタイミングで、純売上や各種決済の比率、現金の有高などを記載した「点検レシート」を素早く発行でき、レジ内の現金チェックを迅速に行えること
16	締め処理	営業終了時の「精算処理」において、現金売上、キャッシュレス売上、部門別売上などの詳細が記載された精算レシートを出力でき、キャッシュレス決済と現金の一元的な照合作業を容易にすること
17	オフライン動作	通信障害等のネットワーク切断時においても、レジの基本機能(現金決済など)が継続して利用でき、復旧後にデータが同期される仕組みを有すること
18	停電時対応	落雷などによる停電(瞬断)が発生した場合も引き続きレジ動作可能となるよう UPS 等による対策を行うこと
19	複数台運用	同一施設内で複数の POS レジを運用・管理できること
20	POS レジ端末	専用端末型・タブレット型問わず、見やすさ、操作のしやすさに配慮された設計であり、カスタマーディスプレイを備え利用者配慮もされていること
21	新札・貨幣対応	新札・硬貨対応にも対応可能であること モジュールやソフトウェアによる対応が望ましい
22	制度改正対応	消費税など関連制度が変更された場合も対応可能であること
23	データバックアップ	取引データ、商品マスター、売上データ等をバックアップできること

		また、障害復旧後にデータの復元可能であること
--	--	------------------------

5.5 販売管理システム

	項目	内容
1	マスターの一元管理と階層化	全施設で共通利用する「基本マスター(生産者・共通農産物等)」と、各施設でのみ利用する「独自マスター(施設独自の仕入先・独自 JAN 商品等)」を分けて登録・管理できること
2	複数手数料の自動計算	施設ごと、商品部門ごと、生産者ごとに異なる基本販売手数料(例:15%、30%など)を自動計算できること
3	市内流通(施設間移動)精算	他施設で販売された場合、レジで読み取った「集荷元コード」と「販売施設」を照合し、基本の販売手数料に加えて「集荷元手数料」や「協議会手数料(配送料等)」を自動で計算し、適切に分配・控除できること
4	経費の自動控除	予め設定した経費のほか、発行されたラベルの枚数をシステムで集計し、あらかじめ設定したラベル単価を売上から自動的に差し引くことができること
5	リアルタイム売上収集	POS レジからの売上データをリアルタイムまたは高頻度で収集・蓄積できること
6	多角的な集計・出力	日報・月報・年報の出力に加え、部門別、商品別、生産者別、時間帯別、客層別など、任意の条件で売上を集計・閲覧できること
7	売上分析	ABC 分析(売れ筋・死に筋の把握)や前年同月対比など、施設の販売戦略やレイアウト変更に直結する分析ができること
8	柔軟な締め処理	「10 日締め」「15 日締め」「月末締め」など、生産者や仕入先ごとに設定された支払サイクルに基づく自動締め処理ができること
9	精算書の自動生成	売上から各種手数料、経費、ラベル代を差し引いた最終的な支払金額を明記した「精算書」を自動生成できること
10	全銀フォーマット出力	生産者への支払いを効率化するため、銀行システムへ直接取り込める「全銀協フォーマット(FB データ)」の自動生成・CSV 出力ができること
11	会計ソフト連携	各施設で利用している会計ソフト(TKC、弥生会計等)へ手打ち入力する手間を省くため、売上データや仕訳データを柔軟なフォーマットで CSV 出力できること

12	権限管理	管理者、店長、スタッフ等の権限を設定できること
----	------	-------------------------

5.6 売上通知配信システム

	項目	内容
1	売上自動通知	1日2回(12時、17時など)の定時配信や、生産者からのリクエストに応じて、最新の売上状況や在庫推移をメールで通知できること
2	施設からのお知らせ	事務局や施設管理者から、生産者へ向けて業務連絡や出荷要請を送信できること
3	精算書のペーパーレス対応	これまで施設で紙印刷・手作業仕分けしていた精算書をデータ化(PDF化)し、マイページ等での閲覧・ダウンロードや、施設設置のプリンターでの「セルフ印刷」を実現すること

5.7 ラベル発行システム

	項目	内容
1	ラベル印刷	生産者・出荷日・商品・産地・価格情報を含むラベルを発行できること
2	複数ラベルへの対応	野菜用などの標準サイズ(例:40mm×40mm)と、文字数の多い加工品用(例:40mm×60mm)の複数サイズのロール紙に対応できること
3	耐水ラベルへの対応	大根など野菜へ直接貼るケースを想定し、水濡れに強い防水仕様のラベルシールを利用できること
4	ラベル連続印刷	指定した枚数を一度に印刷できること
5	加工品ラベル発行	野菜などの商品ラベル発行のほか、食品表示(食品加工)ラベルを発行できること 品種、生産地、消費/賞味期限に加えて、加工品に必要な「名称、原材料名、内容量、アレルギー表示、保存方法、栄養成分表示」を法令に則って印字できること。
6	生産者別ログイン	生産者別に最適化されたラベル発行を行うための生産者ログイン機能を持ち、QRコードや数字PINなど、簡易な認証方式によるログインに対応すること。
7	生産者別管理	生産者ごとに商品、品目、価格、ラベル情報を管理できること
8	プレビュー表示	印刷ミスを防ぐため、確定前に画面上で実際の印字レイアウトを確認できるプレビュー機能を有すること
9	印字制御	「産地」「出荷日」「プラマーク」「紙マーク」を印字できる機能。また、事前にまとめて印刷したい生産者

		向けに「出荷日を空欄(非印字)」にして出力し、後から手書きできる設定を有すること
10	ラベル代の自動計上	設定されたラベル 1 枚あたりの単価(例:1 円、5 円)と発行枚数を掛け合わせ、システムが自動でラベル印刷代を経費として計算し、生産者の精算金額から差し引くことができること

5.8 操作等の研修実施

- ・運用開始前に実機を利用した操作研修を実施すること。ただし、各施設において、システムの習熟に必要な回数実施するものとする。
- ・ラベル発行操作に関して、生産者向け操作研修会を各施設で最低 2 回実施すること。
- ・参加者へ簡易マニュアル等必要な資料を配布すること。
- ・本部向けシステム管理操作、各施設向けシステム管理操作研修を実施すること。

6 導入スケジュールについて

6.1 前提条件

システム切替は、閑散期(1 月～2 月末)に実施する必要があるため、各施設および生産者の意向を組み導入スケジュールを計画すること。

6.2 導入スケジュール

下記は、導入に関する主な実施事項である。これ以外に必要と思われる事項は提案の上、スケジュールに組み込むこと。

	項目	内容
1	実施計画の説明・会議の設定	実施体制・想定スケジュール・導入するシステムや提案内容を説明し関係者の理解を得ること また、随時関係者との会議を設定し、スケジュール調整や実施内容の確認をとり、認識違いなどによる導入不備を事前に解消すること
2	導入システムの初期説明と運用ヒアリングの実施	施設特有のオペレーションや個別事情があるため、導入するシステムの仕様を説明し、システムや運用で補完が必要な点などを確認する また、キャッシュレス端末や自動釣銭機など必要数の確認を行う
3	POS 機器等の調達	導入機器の確定後、発注者の承認を経て、機器調達を実施すること また、メーカー保証が納品時から開始される機器については、納品から本番稼働開始までの期間が最短となるよう、調達スケジュールを調整すること
4	設計・設定	パッケージソフトウェアのパラメータ調整や設定を行うこと 必要に応じて、発注者や関係者へ確認や承認を得ること

5	事前告知対応	施設スタッフ・生産者向けに事前告知のサポートすること
6	生産者向け説明会の開催	ラベル発行・生産者別売上管理など生産者向けサービスについて説明会を複数回開催すること
7	機器搬入・設置・設定調整、既存機器撤去	システム切替日を見据えて、機器の搬入・設置調整を計画すること 既存機器の撤去後の取り扱いは委託者と協議の上対応すること
8	施設研修・事前練習	システム切替前に研修および切替後に実務ベースで練習を実施し、切り替え当日はスタッフが十分に対応できるよう支援すること
9	システム切替	予定した日にシステム切替を実施すること
10	導入後運用サポート	システム切替後のトラブルや操作サポート等に対応すること

7 運用サポートに関する仕様

7.1 前提条件

施設運営において操作方法やトラブルが発生した際に、迅速に現地スタッフへの支援が行える環境・体制を構築すること。

- ・ 下表のとおり施設の営業日・営業時間に合わせ、電話・メール・Web・チャット、マニュアル、QA 等、サポート手段を組み合わせた対応を提供すること。
- ・ サポート契約は、本業務における費用負担期間を 2027 年 3 月末とし、2027 年 4 月以降は、各施設、協議会とサポート内容と負担額の按分を協議の上決定するものとする。

表 3 各施設の営業日・営業時間について

	施設名	営業日
1	道の駅「風の家」	午前 8 時 30 分～午後 5 時 無休(12/31～1/1 を除く)
2	ふるさとふれあい特産館	午前 9 時～午後 4 時 30 分 無休(冬季休業あり)
3	下湯原温泉ひまわり館	午前 10 時～午後 5 時 火曜日・1/1
4	勝山農産直売所「健康の里」	午前 8 時 30 分～午後 4 時 無休(12/31～1/4 を除く)
5	道の駅「醍醐の里」	午前 9 時～午後 5 時 無休(12/31～1/2 を除く)
6	JA 直売所「きらめきの里」	午前 9 時～午後 6 時 年末年始(9 月末・3 月末)
7	JA 直売所「コスモスの里」	午前 8 時 30 分～午後 5 時 水曜日(1/1～1/3)
8	真庭市場 高槻店	午前 10 時～午後 7 時 年末年始
9	真庭市場 守山店	午前 10 時～午後 7 時 なし

10	協議会事務局 (株式会社オール真庭)	午前 9 時～午後 6 時 土日・年末年始
----	-----------------------	--------------------------

7.2 サポート内容

サポート内容は、以下の通りとする。

	項目	内容
1	導入機器・サービスの機能や操作に関する問い合わせ	POSレジ、自動釣銭機、キャッシュレス決済端末、ラベルプリンター、および販売管理システムに関する機能や操作に関するサポート
2	導入機器・サービスのトラブルに関する問い合わせ	POSレジ、自動釣銭機、キャッシュレス決済端末、ラベルプリンター、および販売管理システムに関するトラブルに関するサポート
3	導入機器・サービスのアップデートに関する問い合わせ	関連する制度改定や新札発行による導入機器・サービスの対応に関するサポート
4	マニュアルの提供と継続的な更新	各機器(POSレジ、ラベルプリンタ、決済端末等)ごとの基本操作マニュアルに加え、よくあるエラー(紙詰まり、決済取消、誤操作等)の対処法を分かりやすく図解した「トラブル対応マニュアル」を作成し、紙媒体および電子データで提供すること システムのバージョンアップ等により操作方法に変更が生じた場合は、速やかに改訂版のマニュアルを作成し、各施設へ再配布すること
5	サービスサポート期間の明示	各種ハードウェア・ソフトウェア・クラウドサービスにおいて、サポート期間を明示し、運営に支障が無いようにすること。メーカーの理由によりサポート期間が不明場合は、予め明示の上対応方法について提示すること

8 保守管理について

8.1 前提条件

保守契約は、本業務における費用負担期間を 2027 年 3 月末とし、2027 年 4 月以降は、各施設と協議会が保守内容と負担額の按分を協議の上決定するものとする。

8.2 保守管理内容について

・導入するハードウェア・ソフトウェア・クラウドサービスに応じた保守内容を明確にし、保守体制を準備すること。

・標準保守期間が設定されているものについては明示し、期間終了後の対応方針を事前に提示すること。

・運用に支障がないように導入する機器等により下表を組み合わせの上、提案すること。

	項目	内容
--	----	----

1	故障受付・切り分け対応	電話やメール等により故障受付を行い、申告内容に応じた切り分けを実施し、故障特定を行うこと
2	定期点検	ラベル発行機や自動釣銭機など定期点検による予防措置を提案すること
3	予備機交換対応	故障修理対応より交換による復旧が望ましい場合、予備機交換対応を検討すること
4	オンサイト保守	自動釣銭機など現地対応が必要な機器を対象とする
5	システム保守	ソフトウェアやクラウドサービスなどを対象としシステムメンテナンスやバージョンアップ対応などを対象とする なお、個別有償対応については、提案時に明示すること

9 その他

・関係者は、情報システムに詳しくないことを念頭におき、わかりやすく丁寧な対応を心掛けること。特に、誤操作によるデータ損失やセキュリティ事故などが発生しないよう配慮した対応を行うこと。

・本システムには、独自仕様が含まれるため、カスタマイズが生じる場合は、仕様書作成の上、開発スケジュールを明示し、調整すること。

10 用語定義一覧

	項目	内容
1	施設	各直売所を指し、各施設は独立採算制による運営を行っている
2	協議会事務局	真庭あぐりネットワーク推進協議会事務局
3	真庭市場	市外施設、各市内施設から集荷した農産物を定期輸送し販売している
4	生産者	本仕様書では、施設へ販売委託を行う農家および事業者をいう システム仕様では、仕入先ともいう
5	農産物	直売所で委託販売される商品、加工品も含む システム仕様では、商品ともいう
6	集荷施設	生産者が施設を経由して他施設へ商品を出品する際の集荷を担う施設 システム仕様では、前者を集荷元といい、集荷元手数料の対象となる
7	POS レジ端末	バーコードスキャンすることにより商品情報を読み取り、販売・売上計上を行う設備一式をいう
8	ラベル発行機	生産者が自ら販売用ラベルを発行する設備一式をいう
9	会計ソフト	本仕様書では、各運営者が施設全体を管理するために使用する会計ソフトをいう

10	L2 スイッチ	真庭市が整備した地域イントラネットワーク設備の接続点をいう
----	---------	-------------------------------

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSB、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドロア:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)
・自動釣銭機:MY-NPOS02

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R

3. ラベル発行室



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R
・食品加工ラベルプリンタ:L'esprit(レスプリ)V-ex

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSP、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドロア:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)
・キャッシュレス決済端末(非連携)

UPS

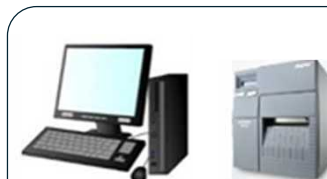
2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)

3. ラベル発行室



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSP、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドロア:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)

3. ラベル発行室



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSP、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター: TM-m30
・カスタマーディスプレイ: DM-D30
・キャッシュドロア: DLA-58ED3
・バーコードリーダー: HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)

3. ラベル発行室



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ: BF408R
・食品加工ラベルプリンタ: L'esprit(レスプリ)V-ex

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSP、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドローア:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)
・キャッシュレス決済端末(非連携)

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)

3. ラベル発行室



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R
・食品加工ラベルプリンタ:L'esprit(レスプリ)V-ex



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R

1. 売場

JA晴れの国岡山 POSレジシステム

2. 事務室



管理パソコン

- ・デスクトップパソコン
- ・商魂商管DXスタンドアロン
- ・FirstPOSソフト
- ・道の駅ソフト
- ・UPS
- ・電源管理ソフト
- ・外部記憶装置(バックアップ用)

3. ラベル発行室



ラベル発行機

- ・ラベルパソコン
- ・ラベル発行ソフト
- ・値札ラベルプリンタ:BF408R



ラベル発行機

- ・ラベルパソコン
- ・ラベル発行ソフト
- ・値札ラベルプリンタ:BF408R
- ・食品加工ラベルプリンタ:L'esprit(レスプリ)V-ex

別紙 現状機器構成

施設名:JA直売所「コスモスの里」

1. 売場

JA晴れの国岡山 POSレジシステム

2. 事務室

3. ラベル発行室



ラベル発行機
・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R
・ルーター(真庭市場接続)

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSB、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドロー:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)
・自動釣銭機:MY-NPOS02

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)



ラベル発行機

・ラベルパソコン
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R

1. 売場



POSレジ端末

TeamPOS7000(A220)
(タッチモニター、Win10 LTSB、
8GB/SSD)
・FirstPOSソフト

POS周辺機器

・レシートプリンター:TM-m30
・カスタマーディスプレイ:DM-D30
・キャッシュドロア:DLA-58ED3
・バーコードリーダー:HR-40UB
・プログラマブルキーボード(58キー)
・自動釣銭機:MY-NPOS02
・キャッシュレス決済端末(非連携)

UPS

2. 事務室



管理パソコン

・デスクトップパソコン
・商魂商管DXスタンドアロン
・FirstPOSソフト
・道の駅ソフト
・UPS
・電源管理ソフト
・外部記憶装置(バックアップ用)
・ラベル発行ソフト
・値札ラベルプリンタ:BF408R